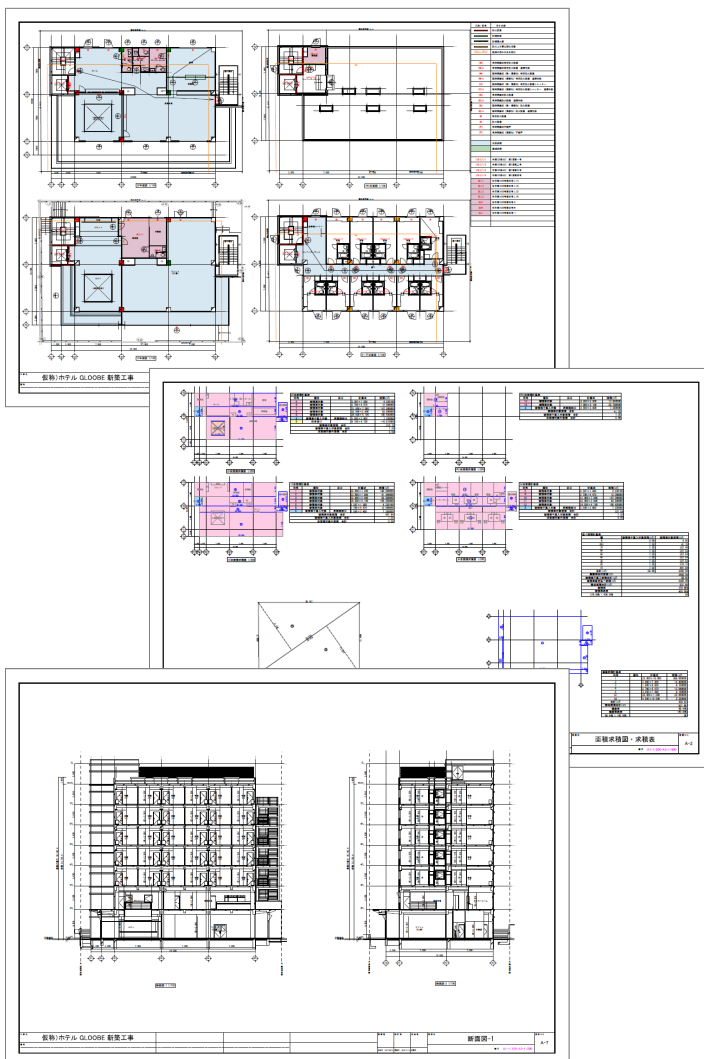


導入マニュアル

確認申請図解説



はじめに _____ 2

1 平面図 _____ 3

1-1 部材のプロパティ設定 _____ 3

1-2 凡例表付き用紙枠の配置 _____ 8

1-3 平面図の配置 _____ 9

2 床面積求積図 _____ 10

2-1 申請面積の入力 _____ 10

2-2 床面積求積図・表の配置 _____ 12

3 断面図 _____ 14

3-1 地盤面の算定 _____ 14

3-2 階数・高さ確認 _____ 15

3-3 断面図の配置 _____ 16

はじめに

このガイドでは、次図のような確認申請用の図面を作成するポイントを紹介します。

1-1 部材のプロパティ設定

1-3 平面図の配置

1-2 凡例表付き用紙枠の配置

凡例/記号	示す内容
—	防火区画
—	防煙区画
.....	防煙垂れ壁
—	防火上主要な間仕切壁
(3m)・(5m)	延焼の恐れのある部分
[特]	常時閉鎖式特定防火設備
[特]s	常時閉鎖式特定防火設備 遮煙性能
(特)	随時閉鎖式(熱・煙感知)特定防火設備
(特)s	随時閉鎖式(煙感知)特定防火設備 遮煙性能
(SS)	随時閉鎖式(熱・煙感知)特定防火設備シャッター
(SS)s	随時閉鎖式(煙感知)特定防火設備シャッター 遮煙性能
[防]	常時閉鎖式防火設備

【平面図】

2-2 床面積求積図・表の配置

2-1 申請面積の入力

区分	種別	区分	計算式	面積(m ²)
C	容積率対象	1	1,250 × 4,350	4,237,500
B	容積率対象	2	7,500 × 4,410	17,500,000
T	容積率対象	3	11,000 × 3,000	11,000,000
B	容積率対象	4	72,000 × 2,900	63,000,000
B	容積率対象	5	74,000 × 4,100	100,400,000
A	容積率不適用対象	昇降機室等	2,500 × 2,900	7,500,000
B	容積率不適用対象	煙突	4,100 × 4,100	18,100,000
容積率対象面積 合計				187,727
容積率不適用対象面積 合計				25,600
容積率対象面積 合計				213,327

【面積求積図・表】

3-3 断面図の配置

3-2 階数・高さ確認

階数	高さ
1F	3,000
2F	3,000
3F	3,000
4F	3,000
5F	3,000
6F	3,000
7F	3,000
8F	3,000
9F	3,000
10F	3,000
11F	3,000
12F	3,000
13F	3,000
14F	3,000
15F	3,000
16F	3,000
17F	3,000
18F	3,000
19F	3,000
20F	3,000
21F	3,000
22F	3,000
23F	3,000
24F	3,000
25F	3,000
26F	3,000
27F	3,000
28F	3,000
29F	3,000
30F	3,000
31F	3,000
32F	3,000
33F	3,000
34F	3,000
35F	3,000
36F	3,000
37F	3,000
38F	3,000
39F	3,000
40F	3,000
41F	3,000
42F	3,000
43F	3,000
44F	3,000
45F	3,000
46F	3,000
47F	3,000
48F	3,000
49F	3,000
50F	3,000
51F	3,000
52F	3,000
53F	3,000
54F	3,000
55F	3,000
56F	3,000
57F	3,000
58F	3,000
59F	3,000
60F	3,000
61F	3,000
62F	3,000
63F	3,000
64F	3,000
65F	3,000
66F	3,000
67F	3,000
68F	3,000
69F	3,000
70F	3,000
71F	3,000
72F	3,000
73F	3,000
74F	3,000
75F	3,000
76F	3,000
77F	3,000
78F	3,000
79F	3,000
80F	3,000
81F	3,000
82F	3,000
83F	3,000
84F	3,000
85F	3,000
86F	3,000
87F	3,000
88F	3,000
89F	3,000
90F	3,000
91F	3,000
92F	3,000
93F	3,000
94F	3,000
95F	3,000
96F	3,000
97F	3,000
98F	3,000
99F	3,000
100F	3,000

【断面図】

1 平面図

ここでは、凡例に沿った確認申請用の平面図を作成する操作を解説します。

1-1 部材のプロパティ設定

「凡例」の機能を使用すると、部材のプロパティが色分け表示され、正しく設定されているか確認が容易になります。凡例から部材のプロパティを割り当てることもできます。ここでは、凡例の使い方とプロパティの設定手順について解説します。

凡例からプロパティを確認する

表示を設定する

凡例を使って確認申請用の平面図を作成するときは、表示設定を「標準－確認申請平面図凡例用」に切り替えましょう。この設定を使用することで、確認申請図用の凡例で表示した際に、モデルの状態が確認しやすくなります。

凡例を参照した表示に切り替える

「専用設計ツール」タブの「凡例」をクリックして、テンプレートから「確認申請図用」の「平面図凡例」を選ぶと、部材のプロパティを参照して、凡例に設定されている内容で部材が色分け表示されます。

「標準－確認申請平面図凡例用」

「確認申請図用」の「平面図凡例」

ここに並んでいる部材が色分け表示される

3D ビューでも色分け表示

塗りつぶし	線色	省略記号	用途2
なし	なし	(126-2/1)	一般軌踏スペース
なし	なし	(126-2/1)	接軌踏スペース
なし	なし	(126-2/1)	会議応接スペース
なし	なし	(126-2/1)	福利厚生スペース
なし	なし	(126-2/1)	役員控室スペース
なし	なし	(126-2/1)	診察スペース
なし	なし	(126-2/1)	収納スペース
なし	なし	(126-2/1)	動線
なし	なし	(126-2/1)	水廻り
なし	なし	(126-2/1)	管理控室

1 平面図

凡例とプロパティの関係

「塗りつぶし」～「省略記号」が図面表示の設定、それより右の項目が部材のプロパティになります。

該当するプロパティの部材が存在するときは、旗マークが付きます。

部材のプロパティを参照して、塗りつぶしや省略記号が表示されます。「凡例」を終了すると、元の表示に戻ります。

対象：防煙区画

対象：柱、壁

対象：建具

建具

基本 Color:高 法規 その他
 名称 外開き窓
 記号 AW 番号 2
 種別 ガラス窓
 基本 Color:高 法規 その他
 防火設備種別 防火設備
 閉鎖方式 無指定
 防火設備性能
 性能時間
 運動検査
 法的区画種別

建具

基本 Color:高 法規 その他
 名称 片開きドア
 記号 LD 番号 2
 種別 フラッシュドア
 基本 Color:高 法規 その他
 防火設備種別 不燃
 閉鎖方式 常時閉鎖式
 防火設備性能
 性能時間
 運動検査
 法的区画種別 排煙免除区画・建具

建具

基本 Color:高 法規 その他
 名称 片開きドア
 記号 SD 番号 5
 種別 フラッシュドア
 基本 Color:高 法規 その他
 防火設備種別 特定防火設備
 閉鎖方式 常時閉鎖式
 防火設備性能 遮炎遮煙
 性能時間
 運動検査
 法的区画種別 防火区画・建具

建具

基本 Color:高 法規 その他
 名称 EV防火扉
 記号 番号 0
 種別 フラッシュドア
 基本 Color:高 法規 その他
 防火設備種別 特定防火設備
 閉鎖方式 常時閉鎖式
 防火設備性能 遮炎遮煙
 性能時間
 運動検査
 法的区画種別 防火区画・建具

建具

基本 Color:高 法規 その他
 名称 シャッター
 記号 SS 番号 2
 種別 シャッター
 基本 Color:高 法規 その他
 防火設備種別 特定防火設備
 閉鎖方式 随時閉鎖式
 防火設備性能 遮炎遮煙
 性能時間
 運動検査 煙感運動
 法的区画種別 防火区画・建具

塗りつぶし

省略記号

凡例

確認申請用 平面図凡例

塗りつぶし	特色	省略記号	種別	防火設備種別	閉鎖方式	防火設備性能	運動検査	法的区画種別
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区画・建具
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎遮煙	---	なし
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎遮煙	---	なし
		[不]	出窓	防火設備	無指定	---	---	なし
		[不]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区画・建具
		[不]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区画・建具
		[不]	ガラスドア	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区画・建具
		[不]	フラッシュドア	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区画・建具
		[不]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区画・建具
		[不]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区画・建具

対象：カタログ建具

凡例

確認申請用 平面図凡例

塗りつぶし	特色	省略記号	種別	防火設備種別	閉鎖方式	防火設備性能	運動検査	法的区画種別
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区画・建具
		[特]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[特]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[特]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[特]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区画・建具
		[不]	フラッシュドア	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区画・建具
		[不]	ガラ	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区画・建具
		[不]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区画・建具
		[不]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区画・建具

対象：ハイパーパーティション

凡例

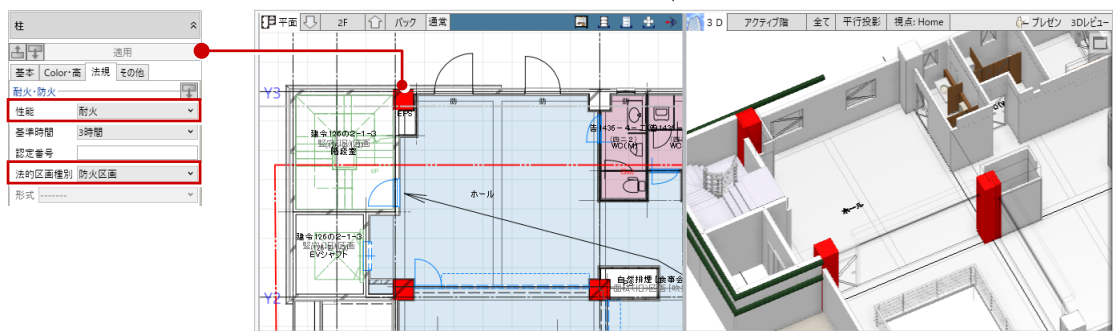
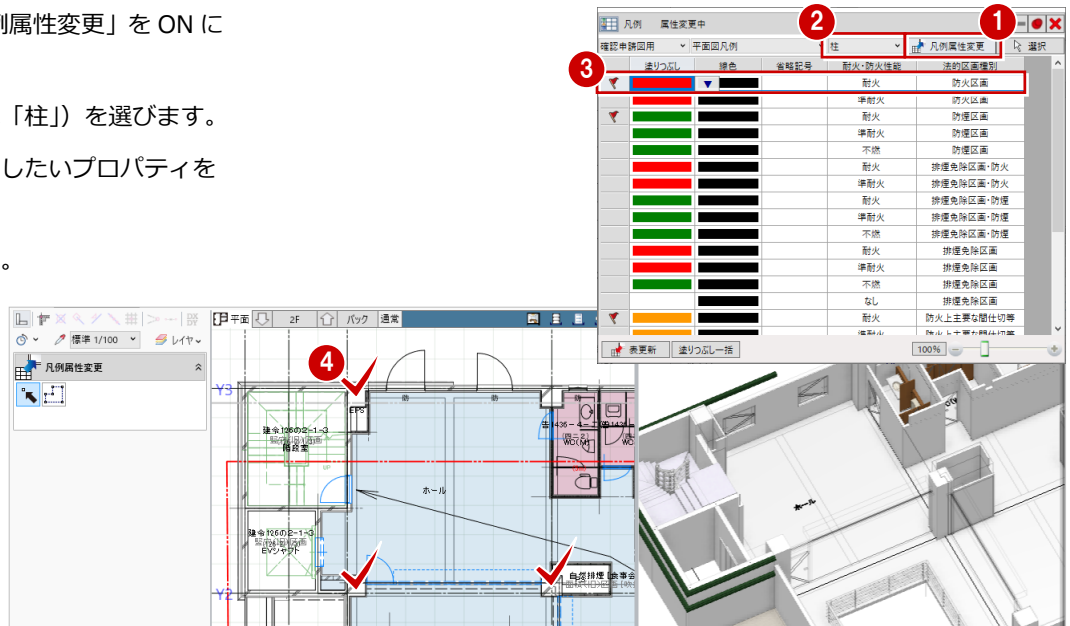
確認申請用 平面図凡例

塗りつぶし	特色	省略記号	法的種別	法的区画種別
			耐火	防火区画
			不燃	防護区画
			耐火	排煙免除区画・防火
			不燃	排煙免除区画・防護
			なし	排煙免除区画
			耐火	防火上主要な居住切等
			耐火	その他居住切等
			不燃	その他居住切等
			準不燃	その他居住切等
			難燃	その他居住切等
			なし	その他居住切等
			耐火	なし
			不燃	なし
			準不燃	なし
			難燃	なし
			なし	なし

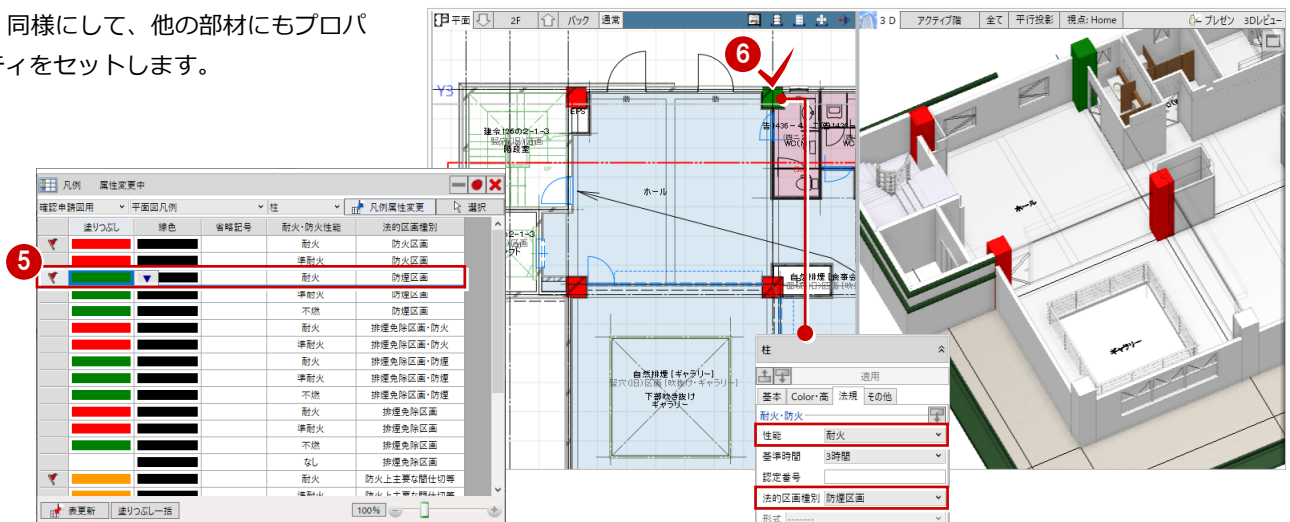
凡例からプロパティを変更する

部材のプロパティが正しく設定されていないと、塗りつぶしや省略記号が表示されません。この場合は、凡例から部材のプロパティを変更することができます。

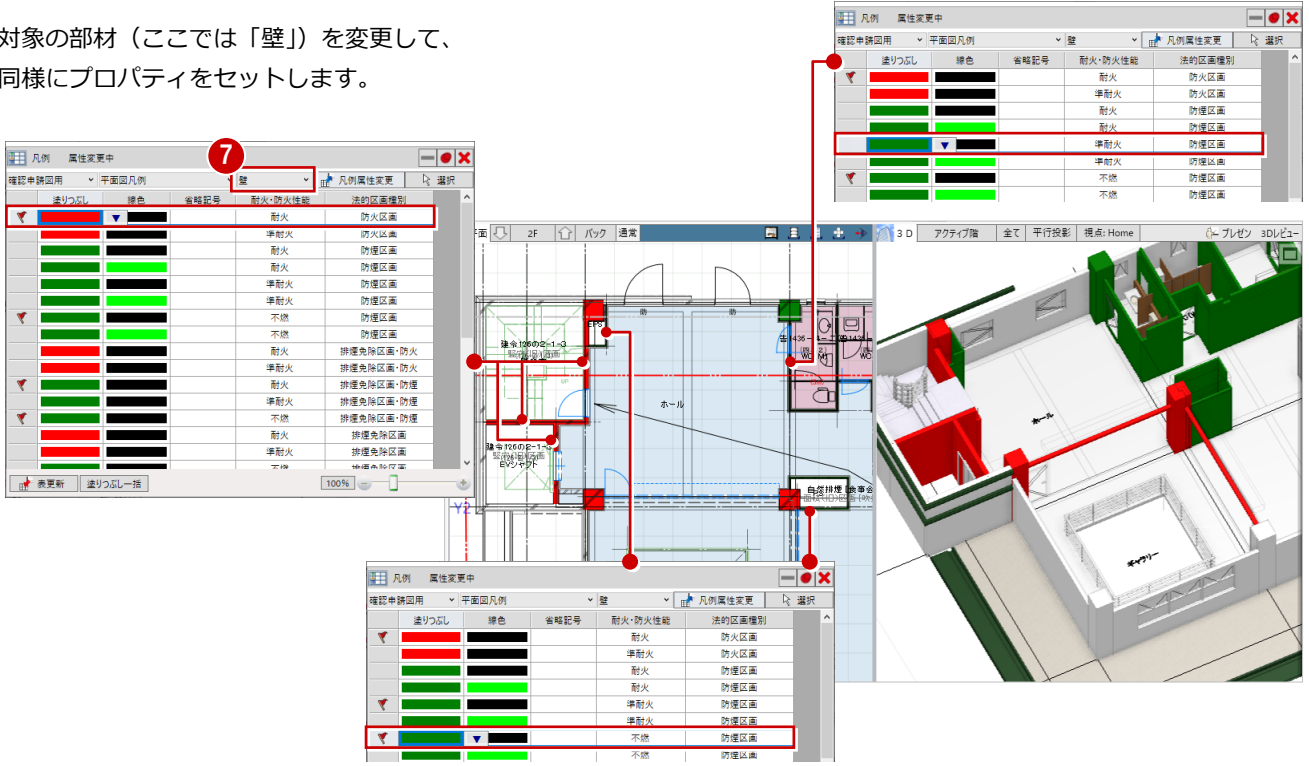
- ① 「凡例」パネルの「凡例属性変更」をONにします。
- ② 対象の部材（ここでは「柱」）を選びます。
- ③ 凡例の一覧から、設定したいプロパティを選びます。
- ④ 部材をクリックします。



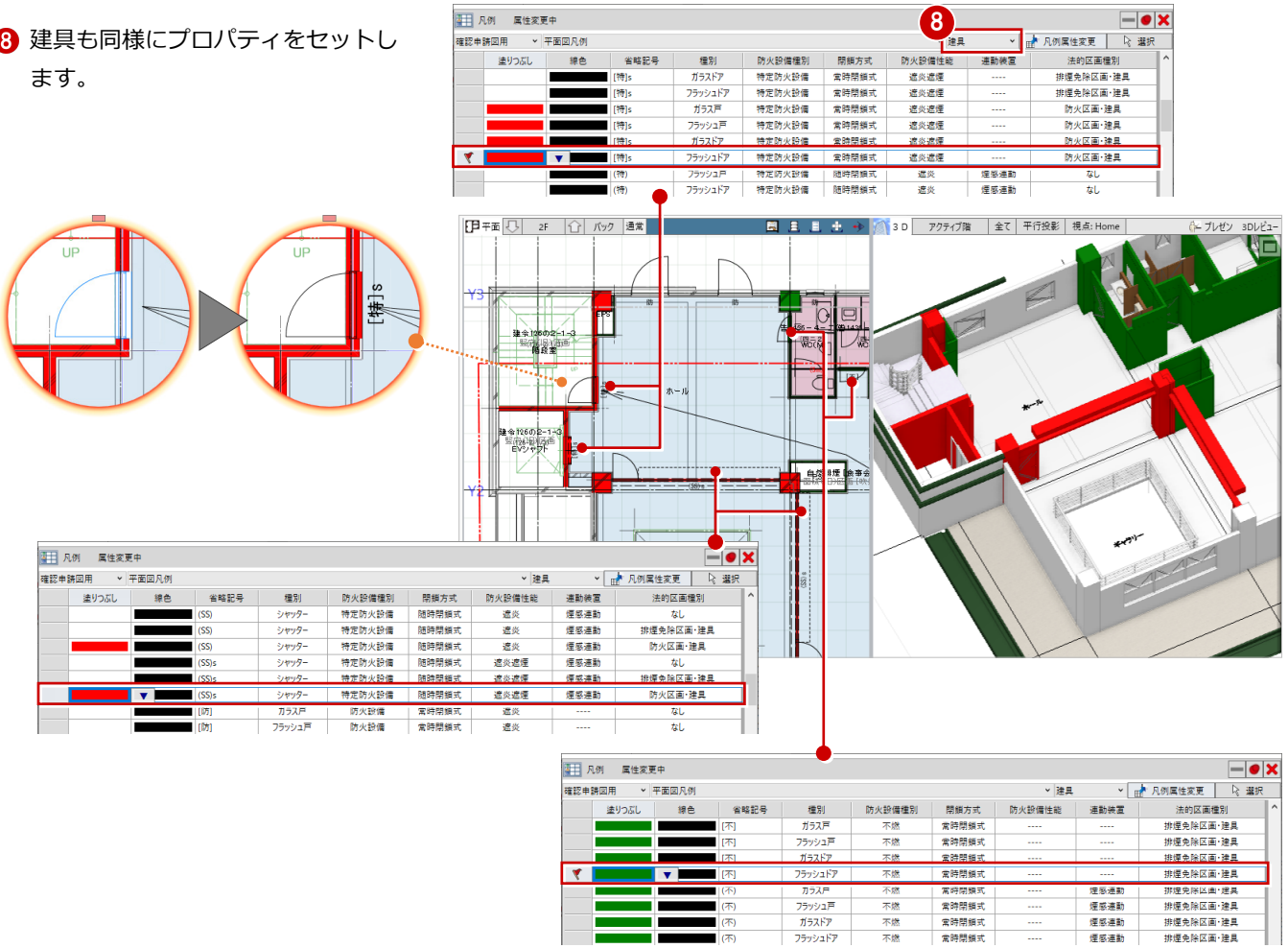
- ⑤⑥ 同様にして、他の部材にもプロパティをセットします。



- ⑦ 対象の部材（ここでは「壁」）を変更して、同様にプロパティをセットします。



- ⑧ 建具も同様にプロパティをセットします。

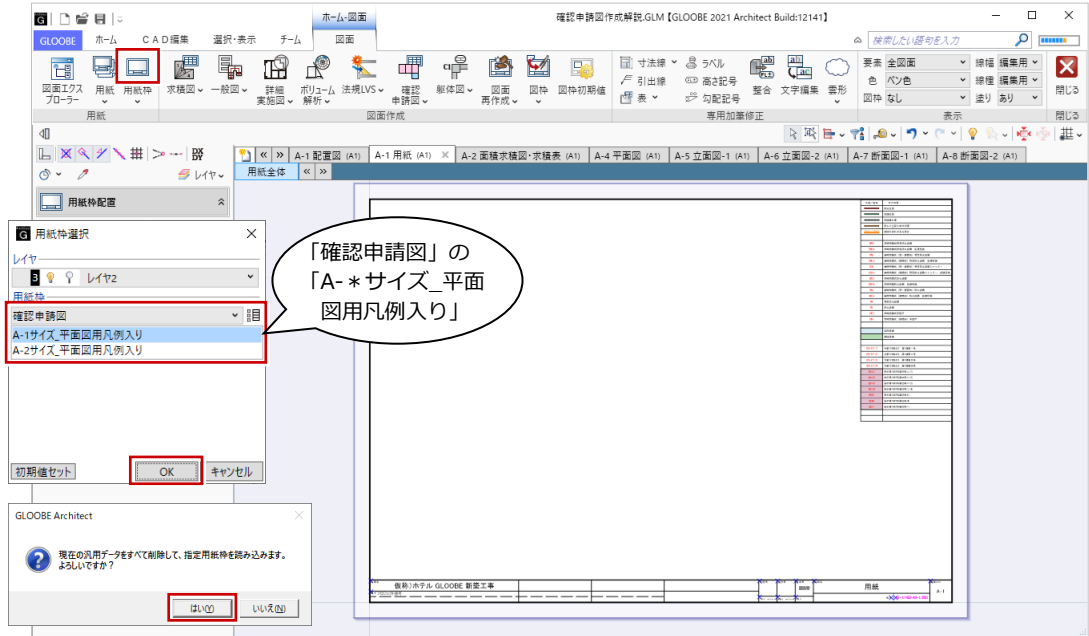


1-2 凡例表付き用紙枠の配置

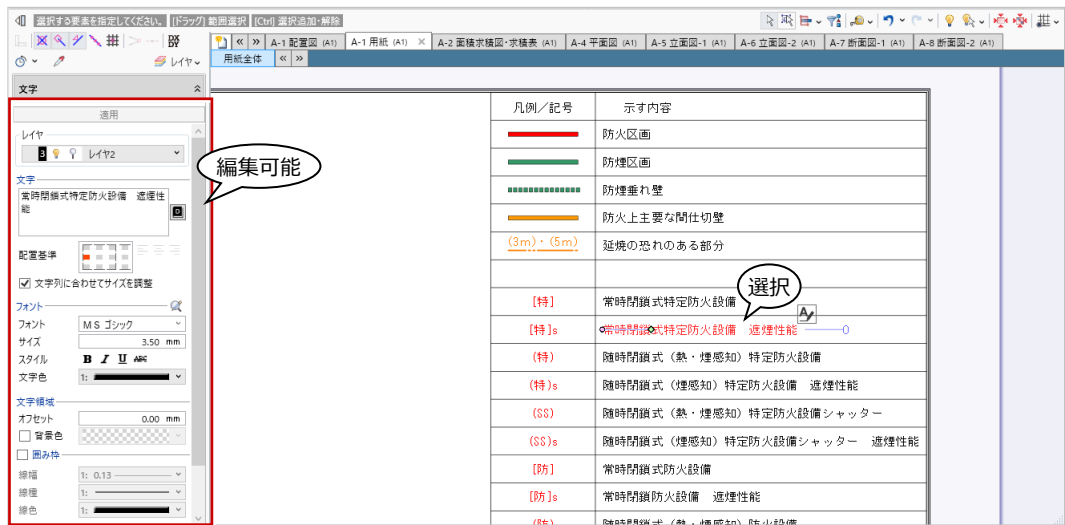
図面・GLOOBE シートの「用紙枠配置」で、テンプレートから「確認申請図」の「A-*サイズ_平面図用凡例入り」を選ぶと、右側に凡例表がレイアウトされた用紙枠を配置できます。

凡例表を編集するときは、文字列や塗りつぶしを選択して、プロパティを変更してください。

【用紙枠の配置】



【凡例表の編集】



1-3 平面図の配置

確認申請用の平面図を作図するときは、「確認申請図」メニューの「平面図」を使用します。

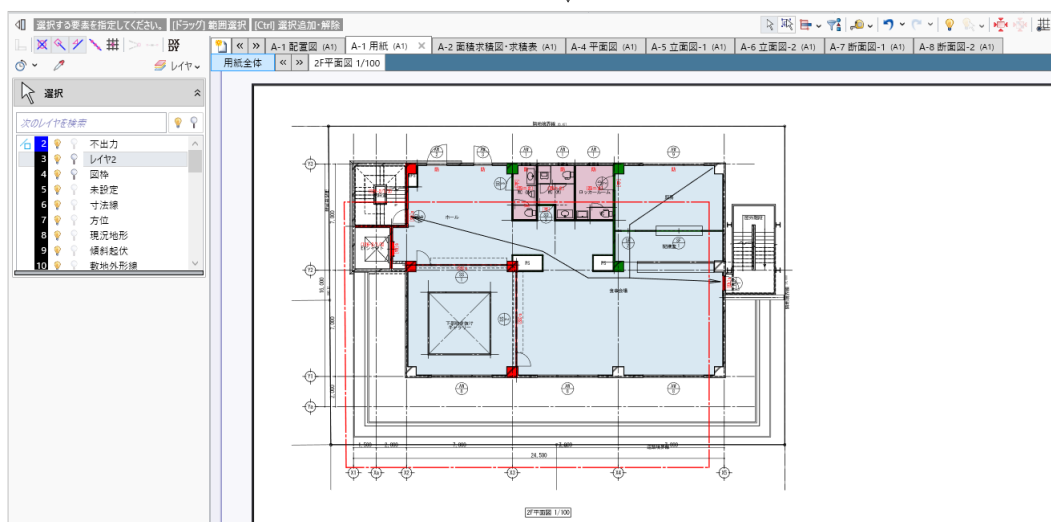
作図表現（凡例）で「凡例を使用する」をONにして「確認申請図用」の「平面図凡例」に設定しておくことで、部材の塗りつぶしと省略記号をモデルと同じ表現で作図できます。

「01_確認申請図」の「・・・平面図（凡例使用・・・）」と記載されているテンプレートは、この設定になっています。

「凡例使用」のテンプレート

「凡例を使用する」ON
「確認申請図用」の「平面図凡例」

分類	塗りつぶし	線色	省略記号	種別	排遣方式	免除理由
平面図	なし	黒	(126-2/1)	排遣免除		建令126の2-1
	なし	黒	(126-2/1/1)	排遣免除		建令126の2-1-1
	なし	黒	(126-2/1/2)	排遣免除		建令126の2-1-2
	なし	黒	(126-2/1/3)	排遣免除		建令126の2-1-3
専用加算	なし	黒	(126-2/1/4)	排遣免除		建令126の2-1-4
	塗りつぶし	赤	(四0)	排遣免除		告1436-4-0
	塗りつぶし	赤	(四1)	排遣免除		告1436-4-0-1
	塗りつぶし	赤	(四2)	排遣免除		告1436-4-0-2
凡例	塗りつぶし	赤	(四3)	排遣免除		告1436-4-0-3
	塗りつぶし	赤	(四4)	排遣免除		告1436-4-0-4
	塗りつぶし	赤	(四市)	排遣免除		告1436-4-0-市
	塗りつぶし	赤	(四市)	排遣免除		告1436-4-0-市
文字	面域	黒		自然排遣		
	面域	黒		機械排遣		



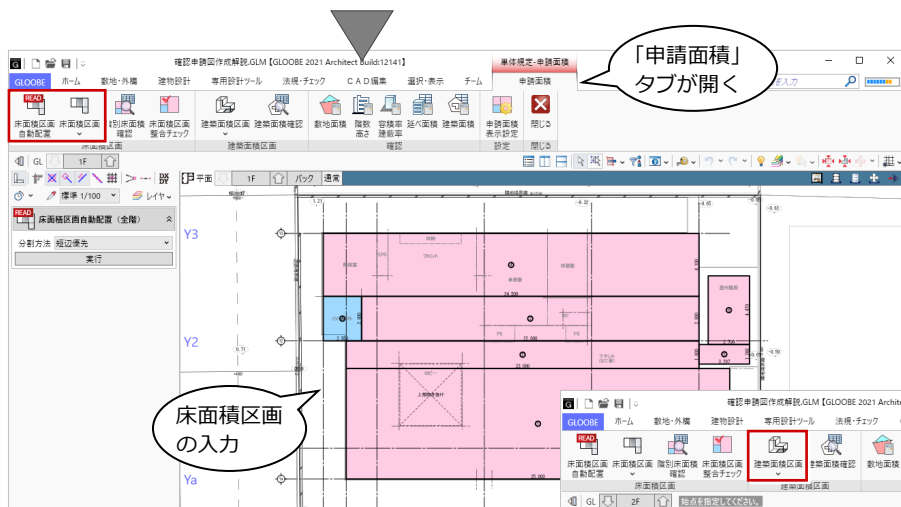
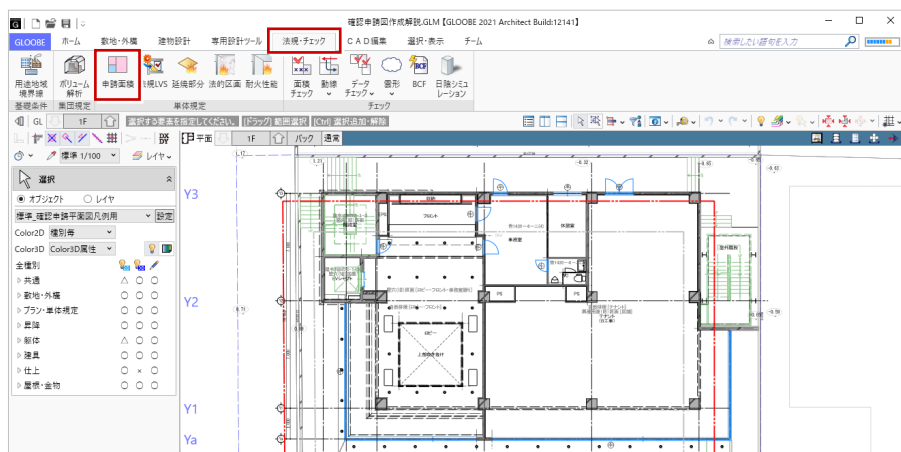
2 床面積求積図

ここでは、区画の種別ごとに色分けした床面積求積図・計算表を作成する操作を解説します。

2-1 申請面積の入力

「法規・チェック」タブの「申請面積」をクリックすると、建築面積・床面積区画を入力して、容積率、建蔽率、建物高さなどを確認する「申請面積」タブが開きます。

申請に必要な面積に関わる情報を、モデル構築段階でまとめて入力・編集することができます。



⇒ 各コマンドの操作方法は、ヘルプを参照してください。

延べ面積・容積率確認

階	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)
R	0.00	0.00
PH1	7.25	41.75
7F	7.25	327.48
6F	7.25	337.54
5F	7.25	337.54
4F	7.25	327.54
3F	7.25	327.54
2F	7.25	310.73
1F	7.25	401.94
合計	58.00	2392.06

容積率判定
 建築物全体面積 58.00 + 2392.06 = 2450.06 m²
 容積率不算入面積合計 58.00 m²
 容積率算定延べ面積 2450.06 - 58.00 = 2392.06 m²
 容積率 2392.06 / 631.66 = 378.69 %
 容積率限度 400.00 %
 容積率判定 378.69 < 400.00 OK

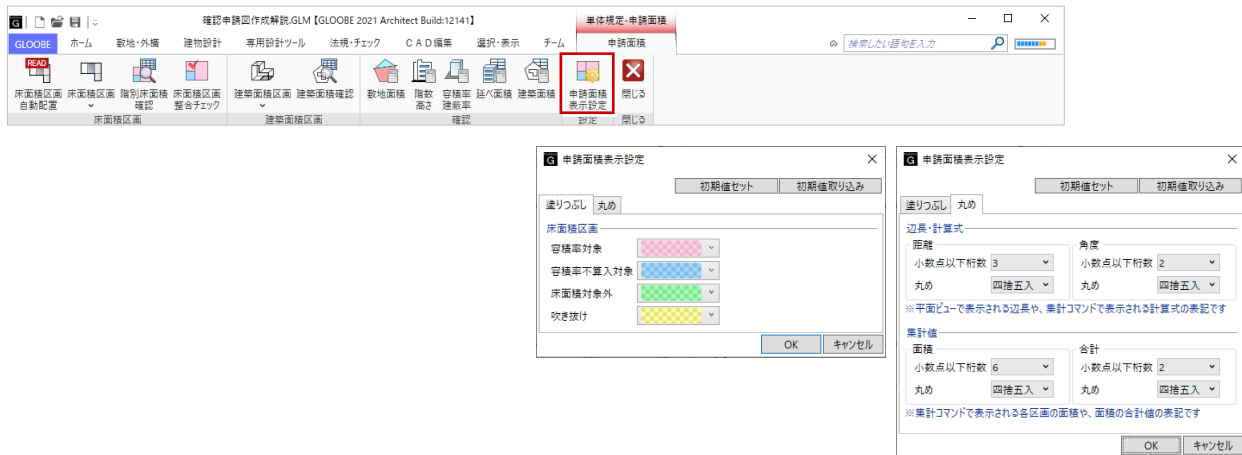
建築面積・建蔽率確認

項目	値
建築面積合計	438.63 m ²
敷地面積合計	631.66 m ²
建蔽率	69.44 %
建蔽率限度	80.00 %
建蔽率判定	69.44 < 80.00 OK

塗りつぶしや丸めを設定する

「申請面積」タブの「申請面積表示設定」で、床面積区画の塗りつぶしや距離・面積などの丸め方法を変更できます。

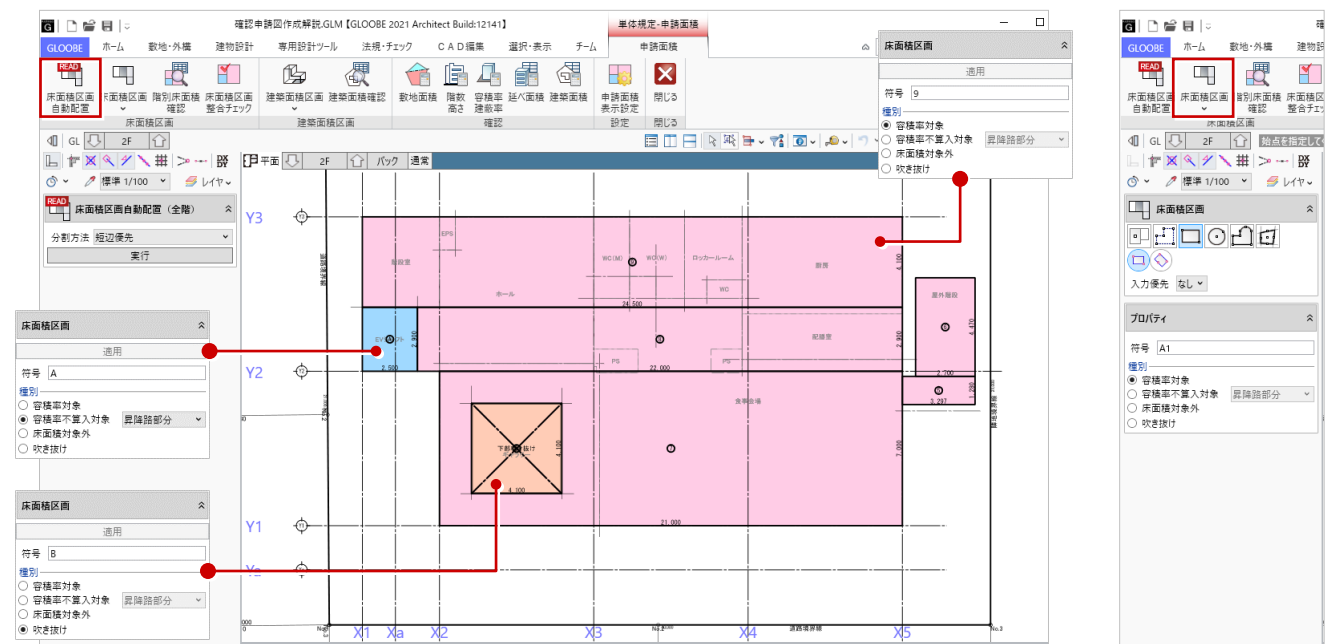
この設定は、図面・GLOOBEシートで「確認申請図」メニューの床面積求積図・階別床面積計算表を配置するときにも使用されます。



床面積区画を入力する

「申請面積」タブの「床面積区画自動配置」を使用すると、スペースのプロパティ「法規」タブの情報を参照して、全階の床面積区画を自動作成できます。個別に入力する場合は「床面積区画」コマンドで「種別」を選んで入力します。

床面積区画は、「申請面積表示設定」を参照して種別ごとに色分け表示されます。



加算区画	容積率対象	容積率・床面積対象とする区画を入力します。
	容積率不算入対象	床面積のみ対象とする区画を入力します。 ※ EV シャフト、共同住宅の共用廊下など
	床面積対象外	容積率・床面積対象外とする区画を入力します（施工床面積）。 ※ バルコニーやポーチなど
減算区画	吹き抜け	吹き抜けの区画を入力します。

2-2 床面積求積図・表の配置

床面積求積図を配置する

床面積求積図の配置コマンドは「求積図」メニューにもありますが、「確認申請図」メニューの「床面積求積図」を使用すると、床面積区画の塗りつぶしや通り芯間寸法の自動描画、スペース線の作図も可能です。

作図表現（床面積区画）で「申請面積タブの表示設定を使う」をONにすると、「申請面積表示設定」で設定した色分けや丸めが参照されます。「01_求積図」の「・・・(塗り有り・・・)」と記載されているテンプレートは、この設定になっています。

「塗り有り」のテンプレート

- 011.床面積求積図 (塗り有/スペース有り)
- 012.床面積求積図 (塗り有/スペース無し)
- 013.床面積求積図 (塗り無し/スペース有り)
- 014.床面積求積図 (塗り無し/スペース無し)

申請面積タブの表示設定を使う

スペース線も作図可能

床面積区画を色分け

通り芯間寸法を作図可能

「求積図」メニューの「床面積求積図」

「確認申請図」メニューの「床面積求積図」

床面積計算表を配置する

「確認申請図」メニューの「階別床面積計算表」を使用すると、床面積区画の種別ごとにセルを色分けできます。作成階を複数指定して連続作図することもできます。

連続作図可能

セルを色分け

2F床面積計算表	種別	区分	計算式	面積(m ²)
5	容積率対象		3,297×1,200	4,220160
6	容積率対象		2,700×4,470	12,069000
7	容積率対象		21,000×7,000	147,000000
8	容積率対象		22,000×2,300	50,600000
9	容積率対象		24,500×4,100	100,450000
A	容積率不適用対象	昇降路部分	2,500×2,900	7,250000
B	吹き抜け		4,100×4,100	-18,810000
容積率対象面積 合計				319,73
容積率不適用対象面積 合計				7,25
床面積対象外面積 合計				0,00

「申請面積表示設定」の「丸め」タブと連動

3 断面図

ここでは、地盤面から「塔屋部分を除外した建物の最高の高さ」と「軒高」の寸法線が作図された断面図を作成する操作を解説します。

3-1 地盤面の算定

地盤面の高さを算定するには、「法規・チェック」タブの「ポリウム解析」をクリックして、「地盤計算」タブのコマンドを使用します。「モデル読み込み（地盤算定用）」または「地盤算定用建物」で建物の外周上の点と地盤が接する高さを設定し、「地盤算定」で平均地盤高を算出すると、その結果が「敷地境界・地盤」のプロパティにセットされます。

地盤算定用建物を
入力して高さを設定

頂点	名称	高さ(mm)
1	1	-320.00
2	2	-320.00
3	3	-320.00
4	4	-320.00
5	5	-650.00
6	6	-650.00
7	7	-650.00
8	8	-650.00
9	9	-650.00
10	10	-650.00

平均地盤高
を算定

平均地盤高
-0.4924 m

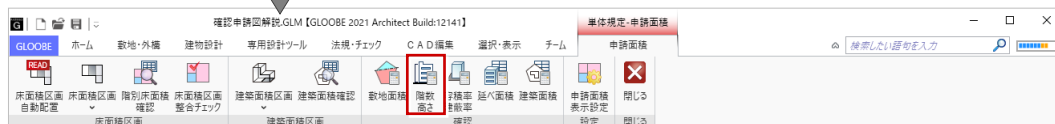
プロパティに
セットされる

平均地盤高
-0.49 m

3-2 階数・高さ確認

「申請面積」タブの「階数・高さ確認」では、昇降機塔などの塔屋部分を階数や高さには算入するかどうかを判定し、地盤高を考慮した建物の「最高の高さ」と「軒高」を確認できます。

ここで計算した「最高の高さ」と「軒高」で、断面図に寸法線が作図されます。



階数・高さ確認

Default Group

ペントハウス階算入判定

建築面積 438.63 m² × 1/8 = 限度面積 54.83 m²

階名称	水平投影面積 (m ²)	階数・高さ計算
PH1	49.00	不算入

階数

通常階 7 + ペントハウス階 0 = 地上階 7

地下階 0

高さ

最高の高さ	24342.40 mm
軒高	23292.40 mm
地盤面の高さ	-492.40 mm

エクスポート 閉じる

【PH 階の水平投影面積が
建築面積の 1/8 以内の場合】

階数・高さ確認

Default Group

ペントハウス階算入判定

建築面積 438.63 m² × 1/8 = 限度面積 54.83 m²

階名称	水平投影面積 (m ²)	階数・高さ計算
PH1	73.50	算入

階数

通常階 7 + ペントハウス階 1 = 地上階 8

地下階 0

高さ

最高の高さ	26972.40 mm
軒高	26322.40 mm
地盤面の高さ	-492.40 mm

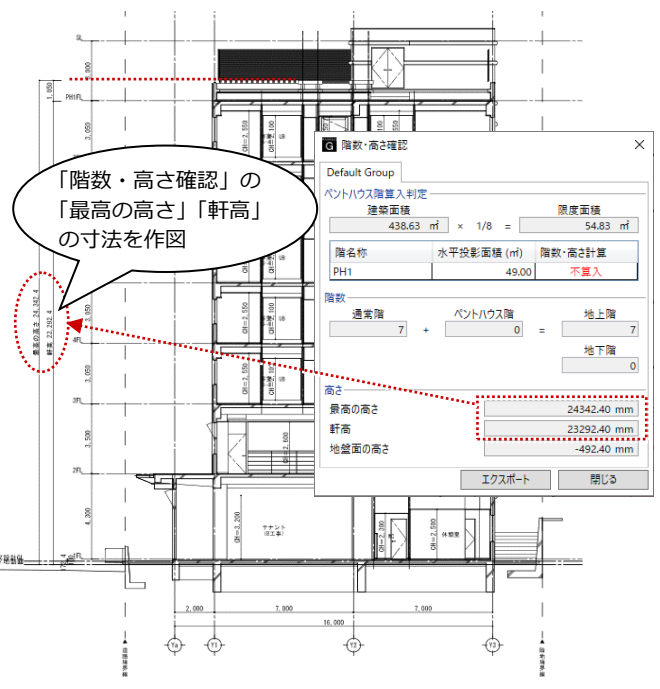
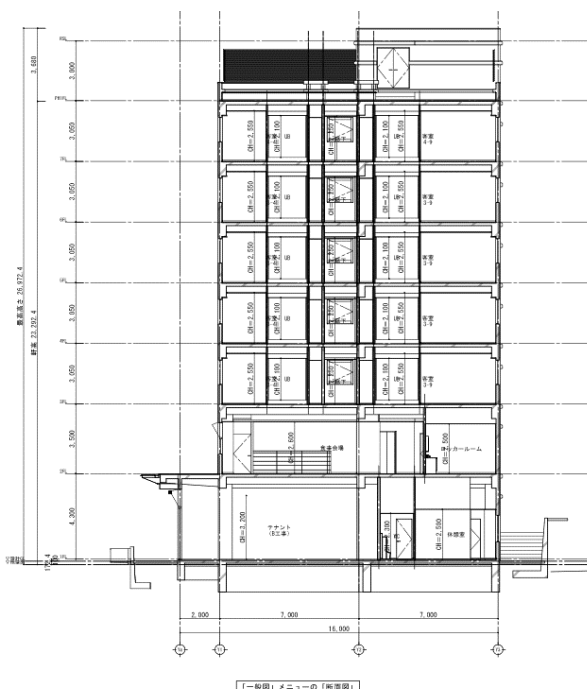
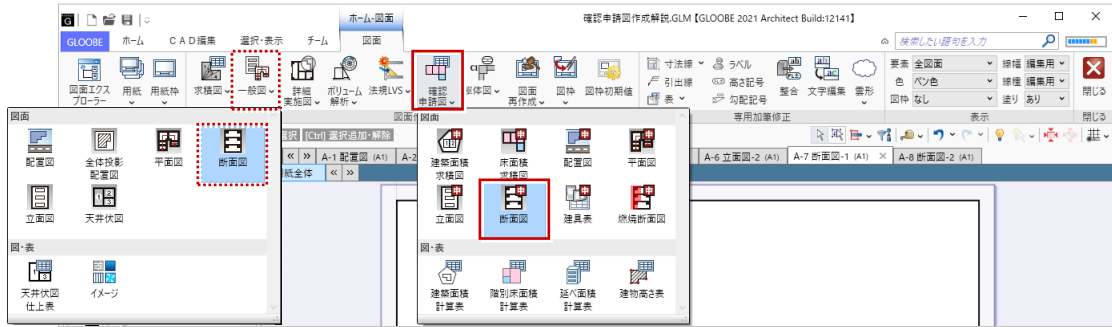
エクスポート 閉じる

判定が「算入」
の場合はペント
ハウス階を加算

【PH 階の水平投影面積が
建築面積の 1/8 を超える場合】

3-3 断面図の配置

断面図の配置コマンドは「一般図」メニューにもありますが、「確認申請図」メニューの「断面図」を使用すると、寸法線の追出し基準は「地盤面」固定になり、「階数・高さ確認」で計算した「最高の高さ」と「軒高」の寸法線が作図されます。



※ 寸法は、GLOBEの「オプション (CAD 環境)」にある「表記法設定」の「寸法」の「距離」の設定を参照して描画されます。